

ライフジャケット着用推進員 Jr を同行して釣り場パトロールを行いました。

今年に入って和歌山県内では、8月1日現在釣りに関連してすでに9名が死亡しており、うち8名がライフジャケットを着用していなかったことから8月3日(水)午前9時から和歌山市内の釣り場をライフジャケット着用推進員 Jr(ジュニア)を同行したパトロールにより大人・子供を問わずにライフジャケット着用の推進啓発活動を行いました。

ライフジャケット着用推進員 Jr(和歌山市内在住 中学2年生)2名は巡視艇きいかぜに乗船して和歌山港から和歌山マリーナシティまでの途中、防波堤や磯場の釣り人にスピーカーによりライフジャケットの着用を呼びかけました。

また、和歌山マリーナシティに到着後、女性ライフジャケット着用推進員(近隣の漁協女性部長)と合流し、マリーナシティ内の釣り場及び付近漁港を巡回し釣り人へリーフレット等の配布を行いライフジャケットの着用を呼びかけました。



ライフジャケット着用推進員 Jr(ジュニア)





啓発活動状況



ライフジャケット着用推進員等と当部職員